



会場前の新成人たち

成人式

二十歳の門出を祝う

大人への門出を祝って、成人の日の一月十五日に成人式が市内の結婚式場で約四百人が参加して開かれました。

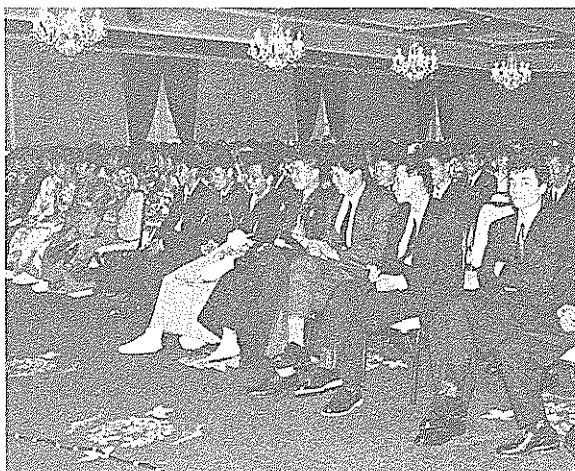
六十二年度に成人を迎えるのは、五百四十八人（男性二百七十八人、女性二百七十八人）で、会場は振袖姿の出席者など華やかな雰囲気になっていました。

式では、小笠原市長や来賓者が「これからは成人として責任のある行動をとってほしい」と祝辞、馬場青年団長が「青年として社会に貢献してもらいたい」とあいさつしたのに続いて、成人を代表し

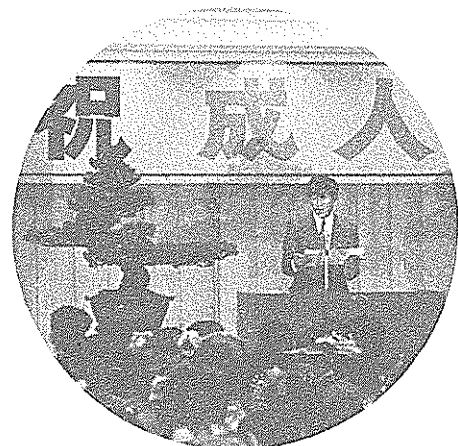
て高橋雅兄さんが「いかなる現実に対しても目をそむけることなく行動していこうと思う」と力強く二十歳の決意を述べました。その後、まはろば囃子の演奏や司亭升楽さんの土佐落語、今年成人を迎える皆さんが生まれた年からの二十年間の歩みをつづったスライドなどのアトラクションが行なわれ、最後に式が始まる前に青年団員がついた紅白のもちが配られました。

そのほか、会場前では二十歳の献血も呼び掛けられ、約五十人が献血をしていました。

振袖姿で二十歳の献血



約400人が出席して盛大に開かれた式典



高橋さんが力強く二十歳の決意